

野村正男 のむら まさお 新聞記者。明治四十五年五月京都生れ。昭和四十八年四月二十一日没（一九二七—）。筆名竹森兵太。立命館大學専攻部法律科卒。京都日日新聞社を経て、昭和十一年朝日新聞社入社。中部本社・東京本社・レーンゲーン支店勤務。戦後東京裁判報道を終始擔當、のち論説委員。

著書『裁かれた日本』（昭和二十一年四月五日角川書店「角川新書」）、『昭和史の断面』（昭和二十一年九月二十八日平凡社「へいぶん」）、『くまのくま』等。

